終活支援・ライフサポートに向けた取組 ～秋田シニアライフ協同組合～

秋田県の総人口に対する65歳以上の割合は34.6％（平成28年7月1日現在）で、全国で最も高い高齢化率となっています。

本号では、高齢化社会において多様化するニーズに対応した終活支援・ライフサポートを通じ、広く社会に寄与することを目的に、異業種である12の企業がこれまで培ってきたノウハウを持ち寄り、昨年1月に設立した秋田シニアライフ協同組合（鈴木道雄理事長）の取組内容をご紹介します。

■ 組合設立に至った経緯
－終活に関わる支援を本格的に行いたい－

全国で最も高齢化が進んでいる本県において、人生の終焉を考える際に「孤独死」や「葬儀」、「相続」など簡単に解決出来ない問題が多い中で、鈴木理事長が実際に相談を受けた経験から、このような問題にワンストップで対応できる支援体制を構築したいと考えていました。

そこで、自身が特定組合員として所属し墓園の管理等を行ってきた**長沼禅苑企業組合も主要メンバーの一員とする新たな組合を誕生させる**ことで、終活支援が最も早く実現できると考え、昨年1月に終活に関わる司法書士やセレモニーホールなど異業種12名により当組合を設立しました。

［当センターでの相談風景］

■ 組合事業の内容
－ワンストップ型の終活等支援を実施－

一人暮らしの高齢者が増加する中、万が一の場合に身寄りがないと、必要な身辺整理が困難になります。そこで、お墓や葬儀をはじめ、家事代行や除雪等の日常的なライフサポートを行う「あきた終活支援センター」を昨年4月に開設し、終活等に関する無料相談窓口を設置しました。

結果、昨年12月までの相談件数は200件を超え、墓じまい・仏壇じまいをはじめ、永代供養や家屋の解体・リフォームなど多くの相談が寄せられています。なお、昨年12月からは相談者からの声を踏まえ、「身元保証」や「見守り・話し相手」に関するサービスを開始するなど、相談者のニーズに沿ったワンストップ型の終活・ライフサポート支援を展開しています。

［終活セミナーの様子］

鈴木理事長へ今後の抱負についてお伺いしました

「終活」とは、人生の最期を前向きに生きるための「老い支度」であり、人生の終わりに向けて前向きに準備し今をより良く生きる活動ですが、100人いれば100通りの考えがあります。

今後は、3月4日（土）・5日（日）に開催する「あきた終活フェアinアトリオン」（入場無料）をはじめとする無料相談会や、有意義な時間を過ごせる終活ツアー等を企画し当組合の取組内容をより多くの方々にアピールすることにより、高齢化社会の変化が生んだ新しい活動である「終活」という取組を本県で根付かせ、今まで以上に「点」ではなく「線」、さらには「面」となるような支援を意識して行っていきたいと考えています。

［抱負を述べる鈴木理事長］

【組合の概要】

- **所 在 地**　秋田市中通四丁目14番16号
- **T E L**　018-827-3758
- **F A X**　018-827-3759
- **U R L**　http://www.shukatsu-akita.com/
- **出 資 金**　6,070,000円
- **組合員数**　13名

あきた終活支援センター営業時間
平日　午前9時～午後5時

「あきた終活フェアinアトリオン」を開催（入場無料）

◆開催日時　3月4日（土）10:30 ～ 17:00
3月5日（日）　9:00 ～ 16:00
◆開催場所　秋田市「アトリオン」地下1階

当日は、永代供養墓や墓じまい、葬儀、相続、家屋解体、リフォーム、カルチャー、食など様々なブースが出店します。また、無料で生前写真撮影会やセミナー等も開催します。是非お越し下さい。